

# 飯樋夏の風物詩

はっぴと仮装でにぎやかに

小雨の中、流し盆踊り



▲お揃いのはっぴでムードを盛り上げていました。

# みんなのひろば

ここはみなさんが主役のひろばです。  
身近な話題をどんどんお寄せください。

■役場企画室 TEL42-1613

第13回飯樋流し盆踊り大会は、県の地域づくりサポート事業の補助を受けて8月20日に行われ、仮装盆踊りや花火大会で賑わいました。



▲観客を楽しませた仮装

毎年お盆の時期に開催されていたこの事業ですが、今年は悪天候が続いたため延期、20日に開催となりました。

当日も時折折小雨がぱらつくすつきりしない天気となりましたが、会場となった飯樋町の商店街には提灯が飾られ、色とりどりのはっぴを着た踊り子や、趣向を凝らした仮装に身を包んだ参加者が見物客の見守る中、街中を踊り流しました。



## 村づくり、農業の現場体験

### 日大生が村を研修

8月21から23日の3日間、日本大学の建築・地域共生デザイン研究室の学生22人が村を訪

れ、村づくりについての研修と農業体験を行いました。彼らは村づくりアドバイザー系長浩司先生のゼミ生で、今回の訪問は、農山村を舞台としたグリーンツーリズム研究のための研修旅行として行われたものです。

21日、学生らは公民館で行われた第5次総やるきつながらプラン中間報告会に出席、地域密着型の村づくりについて研修しました。

22日には村内7箇所の家などで農業や陶芸、木工等を体験。このうち、前田の長谷川健一さん宅では、学生らが大根の間引きや収穫作業を行いました。農業は初めてという学生らは、長谷川さんの指導を受けながら、日に焼け汗だくになって作業を行い、農業の現場を肌で感じていました。



▲フェリーの上で



▲バーベキューで交流

▲「ムックリ」体験

# 感動探しの旅、最後の航海

## 海洋アドベンチャースクールVI

洋上生活や北海道での体験を通し、がんばる力、思いやりの心を養い、様々な人たちとの交流により、多様な価値観を育もうと、7月28日から

8月1日の日程で平成15年度海洋アドベンチャースクールVIが行われ、村内の小学6年生73人が4泊5日の感動体験の旅を楽しみました。

今年で6回目となるこの事業は今年度で終了が予定されており、今回が最後の旅となります。

7月28日、公民館前を出発式を終えた子供たちは、家族

らの見送りを受けながらバスで一路仙台港へ。仙台港からフェリーに乗船し北海道を目指しました。

北海道到着後はアイヌの文化を学んだり、毎年訪れている倶知安町の探検や、バーベキューをしながら現地の子供たちとの交流を深めました。

また、31日にはラフティングに挑戦。子供たちは巧みにパドルを操りながら流れに挑み、北海道の自然を満喫していました。8月1日、4泊5日の体験と感動を胸に一行は元気に帰村しました。



▲▶操舵室を見学（上）とフェリー船室で（右）



▲大自然の中をラフティング